

第17章 パッケージ（要点）

- パッケージ

名前の衝突を防ぐために用意されたグループ訳の仕組み。

クラスの名前が同じであってもパッケージが異なっている限り、異なるクラスとして扱われる。

今まで記述していた`public`なクラスは、パッケージの外からも利用できる。また、`public`と宣言していないクラスはパッケージの中でしか使うことができない。

パッケージ名.クラス名

例) `java.util.Random` (`java.util`がパッケージ名、`Random`はクラス名)

- `import`

パッケージの取り込みを明示するもの。

明示することで、パッケージ内のすべての`public`なクラスとインターフェースをとりこむことができる。

`import パッケージ名.*;`

例)`import java.util.*;` (`java.util`がパッケージ名、`*`は"このパッケージ内のクラスとインターフェースに合致"という意味。"このパッケージ何のサブパッケージに合致" という意味ではない)

アクセス制御に関して覚えること!!

アクセス制御とは

パッケージの外からどのクラスが使えるか、またクラスの外からどのメソッドが使えるのかを制御すること(決めること)

↓これは覚えておこう↓

修飾子	機能
<code>private</code>	自分のクラス内だけに見せる
<code>protected</code>	パッケージだけでなくサブクラスにも見せる

public	みんなに見せる
なし	自分のパッケージに見せる

イメージ

